

■開催にあたつて

道祖神は地区の入口や境、辻などにあり、道の神・境を守る神・縁結びの神・厄除けの神などと信仰は多様です。

そのなかで、長野市内の道祖神祭りは、一月十五日を中心子どもたちによる勧進や、道祖神講・地区の祭りとして行うなど多様な形態で行われています。そして、松飾りやヌルデの木で作る人形、あるいは巨大なワラ人形などの人形道祖神が各地で作られています。

今回の特別展では、長野市内で行われている道祖神祭りの様子や、人形道祖神を紹介し、今後長野市内だけでなく北信地域・長野県内の道祖神祭りを探るきっかけとし、これらの文化財を後世に伝えることの重要性を感じついていただければと考えています。

開催にあたり、貴重な資料をご提供いただきました地区の皆様をはじめ、ご協力いただいた多くの方々に対し、心からお礼申し上げます。

■例 言

■目 次

開催にあたつて

例 言

目 次

本文編

長野市内の道祖神・祈りとかたち……………1

1 小田切小鍋（ヨメ・ムコ・オトモ）……………2

2 芋井（子どもたちによる勧進）……………6

3 若穂（木像道祖神と道祖神日待ち占い）……………10

4 松代町柴（オンベによる悪疫払い）……………13

5 篠ノ井塩崎（オスガタ・カンタサン・オンマラサマ）……………14

6 稲葉日詰（道祖神講とオンマラ）……………16

7 栗田上組（道祖神の春祭り）……………18

展示資料目録……………19

参考文献、ご指導・ご協力いただいた方々……………21

表紙写真

裏表紙写真

・ドンド焼き

長野市若穂綿内古屋

参考文献、ご指導・ご協力いただいた方々……………21